

SEA LIFE NEWS

TOKYO SEA LIFE PARK



葛西臨海水族園

オールドワイフ

【英名】 old wife

【学名】 *Enoplosus armatus*

白銀色と茶色の縞模様が色鮮やかなオールドワイフは、オーストラリア南部、西部、および東部の沿岸域に分布する固有種で、「オーストラリア南部」水槽で展示しています。水深約100mよりも浅い岩礁域や藻場に暮らし、ときには数百匹もの大きな群れをつくります。学名の「*armatus*」とは「武装した」という意味で、背ビレ、腹ビレ、尻ビレに長く鋭い棘があり、その棘で身を守っていると考えられます。オールドワイフという名前は、一説には、この魚が捕らえられたときに、歯をこすり合わせて音を出す習性が、小言の多い老婆 (old wife) を連想させることに由来するそうですが、エレガントな容姿にはあまり相応しくないのかもしれませんが。(飼育展示係 笹沼 伸一)

CONTENTS

SEA LIFE TOPICS

- ウミガラスとエトピリカの健康チェックをしました
- グレートバリアリーフのそっくりさん？

なぎさNEWS

- 「西なぎさ」の生き物たち 2025年のまとめ

水族園のもう一つの顔

- さらに安心できる水族園を目指して
- ルミナスかざりん開催!

TSLP LATEST



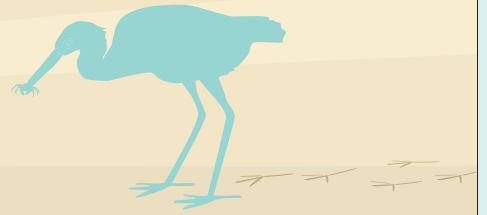
Vol.24 No.2 2026

APRIL

通巻

127

なぎさ NEWS



「西なぎさ」の生き物たち 2025年のまとめ

水族園では、葛西海浜公園の「西なぎさ」にくらす生き物の生息状況や季節による変化などを定期的に調べています。今回は、2025年の調査で見られた生き物を紹介します。

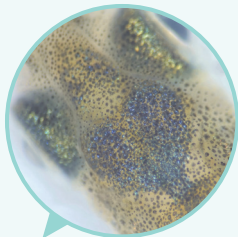
【地曳網調査】

■ 隠れ上手なイシガレイ



4月にはイシガレイの稚魚が7年ぶりに入網しました。浅く塩分が低い干潟を好む稚魚にとって、「西なぎさ」は東京湾内での数少ない成育場所です。「葛西の海 2」水槽に展示したときは砂の中に上手に隠れていました。

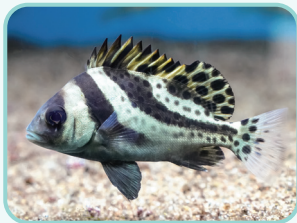
■ あたまにハート ウグイ属の一種



ウグイ属の稚魚は一見すると地味な魚ですが、頭頂部にはきれいなハート形の模様があり、ひととき目を引きまします。ウグイのなかまは川に生息するイメージが強いものの、海に下るグループもいます。調査でも数年おきに確認されており、6月には1個体入網しました。



■ おしゃれなタイ?



8月の調査ではコショウダイが入網しました。稚魚は全身茶色ですが、成長すると背中側に黒い水玉模様が入ります。そんなおしゃれな模様を持つコショウダイですが、名前にタイとは付くものの、実は塩焼きでおなじみのイサキのなかまなのです。(飼育展示係 坂本 滉太郎)



2025年の地曳網調査の結果は、Web版のSea Life News127号でご覧いただけます。

【生き物調査】

■ 体がステスケ!? ソトオリガイ

個体によって体の色が透けて見えるほど薄く、細長い殻をもつ二枚貝のソトオリガイ。調査ではほぼ1年中見られましたが、特に夏に多く見つかりました。「西なぎさ」で見られるアサリやヤマトシジミなど、他の二枚貝に比べて少し深い所から見つかることが多いソトオリガイ。これほどまで殻が薄い理由は分かっていませんが、もしかすると、外敵が少ないため身を守る殻を厚くする必要が無いのかもしれない。



水管が殻からはみ出ているぞ

■ あっちにも、こっちにも、アラムシロガイ!

1月の調査中、干潟をスコップで掘ったときに小石に当たったような感覚がありました。確認してみると、アラムシロガイという殻長1.5cmほどの小さな巻貝のなかまでした。魚や貝などの死がいを食べることから、「干潟のお掃除屋」ともよばれています。調査では毎年1月から3月の寒い時期に特に多く見られます。ふだんは泥の中に隠れていますが、エサを探していたのか、この日は泥の上にもちらほら。ふと気になって調査チーム4名で3分間、アラムシロガイを探してみると、なんと167個体も見つかりました! 小さな生き物に干潟が支えられていることを改めて実感した瞬間でした。(教育普及係 津山 透)




両手いっぱいどれた!

2025年地曳網調査結果

水族園では偶数月に葛西海浜公園「西なぎさ」で小型地曳網を使用した生物調査をおこなっています。一年を通して調査することで、「西なぎさ」に生息する生き物の種類や個体数の変化をみることができます。
 (飼育展示係 坂本 滉太郎)

分類	実施月	2月	4月	6月	8月	10月	12月	合計個体数
	水温 (°C)	10.0	18.0	22.5	31.2	25.0	15.0	
	塩分 (PSU) ※ 1	30.4	13.3	10.7	20.3	30.5	29.4	
カライワシ目	カライワシ					1		1
ニシン目	サッパ				2	173		175
	コノシロ				2			2
	ニシン科			4	138			142
	カタクチイワシ					2		2
コイ目	ウグイ属			1				1
キュウリウオ目	アユ		1				11	12
	シラウオ		7					7
	イシカワシラウオ					14		14
ボラ目	ボラ		7	5				12
トウゴロウイワシ目	トウゴロウイワシ				44			44
ダツ目	ダツ					5		5
スズキ目	スズキ	2	42				1	45
	ヒイラギ					3		3
	クロダイ			11				11
	シロギス					2		2
	ナベカ属					2		2
	ミズハゼ属		24					24
	ヒモハゼ		5	1	1	10		17
	マハゼ		1,197	9				1,206
	アシシロハゼ	3	40					43
	シモフリシマハゼ					2		2
	チチブ属1			1	15	7		23
	チチブ属2		1	16	5	32		54
	ヒメハゼ		1					1
	ニクハゼ				3			3
	ピリンゴ		1,552	31				1,583
	チクゼンハゼ		1	1				2
	エドハゼ		384	12,830				13,214
	ウキゴリ属		246	10				256
	ドロメ		11					11
	ハゼ科		160	14	11	541		726
カサゴ目	マゴチ				1			1
カレイ目	イシガレイ		7					7
フグ目	ギマ				2			2
	トラフグ							32
	フグ科				1			1
合計個体数		5	3,686	12,970	235	780	12	17,688
種類数 ※ 2		6	12	16	13	15	4	


ダツが4年ぶりに入網しました。一番大きい個体は全長31cmありました。



例年、地曳網調査でたくさん採れるエドハゼですが、2025年8月の入網数は過去最高を記録しました。



昨年に続き、今年もトラフグが出現しました。安定して「西なぎさ」にやってくるようです。



※1 普通の海水の塩分は34ほどです。雨の多い季節は川から淡水が多く流れ込むため、薄まって値が低くなります。
 ※2 種がはっきりしていない仔・稚魚も、1種として数えています。

水族園 のもう一つの顔



さらに 安心できる水族園を目指して

葛西臨海水族園では、感覚過敏のある方や刺激を感じやすい方にも安心してご来園いただける環境づくりを進めるため、センサリーグッズの貸出とカームダウンスペースの設置を2月から開始しました。貸出対象のセンサリーグッズは、不快に感じる刺激を減らしたり、安心感を得たりするのに役立つアイテムです。グッズは専門家や当事者の方の意見を取り入れて選びました。当園では、周囲の大きな音が和らぐイヤーマフや、気持ちが安らぐ効果が期待できるオイルタイマーなど、4種類のグッズを専用のバッグに入れてお渡します。必要な方は本館2階の案内カウンターにお声がけください。カームダウンスペースは、館内での刺激から一時的に離れて休めるところです。中にはベンチがあり、気持ちを落ち着かせる目的にご利用いただけます。これらは2028年の新水族園のオープンに向けた「アクセシブルプロジェクト」を検討していく中で生まれた取り組みを、オープンに先駆けて現在の水族園で実施するものです。水族園が実践しているソーシャルインクルージョンの実現に向けた取り組みとあわせ、これからも誰もが楽しみ、学ぶことができる水族園を目指します。

(新水族園準備室 瀬川 夏代)



センサリーグッズ。バッグに入れてお渡します

ルミナスかさりん開催!

葛西臨海水族園の運営をしている東京動物園協会では、若手職員が中心となって、来園者に対するサービスの向上を目指した取り組みを行っています。2025年度の課題は「水族園の閑散期の来園者増加」でした。事前に行ったWebアンケートでは「イルミネーションをしていって行きたい!」という意見を多くいただき、「光」をテーマにしたイベント「ルミナスかさりん」を行うことにしました。イベント内容を考える段階では、「園内に光るオブジェを置こう」、「正門から券売所までをイルミネーションで飾ろう」などの案が出ていました。話し合いの結果、1月22日から2月24日の期間で、ガラスドーム×葛西臨海公園内の大観覧車のライトアップ、水族園の生き物の影絵投影などを行うことに決定。ガラスドームのライトアップは夕闇をイメージした青紫色にするために、施設管理を行う係と協力して、各照明へフィルムを付けました。大観覧車には、運営会社に依頼してマグロや水族園のロゴマークなどを映し出してもらいました。企画や準備はとても大変でしたが、影絵で遊ぶお子さんの様子や、お客様のInstagramへの投稿を見て、普段の業務では得られない喜びを感じました。

(飼育展示係 川上 七海)



ガラスドームと大観覧車をライトアップ!

TSLP LATEST

TOKYO SEA LIFE PARK

- 2/2 センサリーグッズの貸出を開始
- 2/6 展示種の入替のため「海藻の林」水槽の展示を閉鎖
- 2/6 「深海の生物 トピック水槽」でイッテンサクラダイを展示
- 2/19 館内にカームダウンスペースを設置
- 2/21 「深海トークショー」を開催
- 2/22-23 「深海ラボ」を開催
- 2/24 千葉県勝浦市で海藻採集を実施
- 2/26 「海藻の林」水槽の展示を再開
- 2/26 トピック水槽でハナピラウオ(幼魚)とタカベ(幼魚)を展示
- 3/1 深海ワークショップ「さわって発見! 深海魚のひみつ」を開催
- 3/3 クワイエットアワーを実施
- 3/15 「身近な水辺保全講演会」を開催

編集後記

生き物調査で紹介したソトオリガイの名前は日本書紀や古事記に登場する衣通姫に由来するそうです。その姿が衣を通して見えるほど美しく輝いていたとされる衣通姫と、体の色が透けて見えるほど薄い殻をもつソトオリガイ。表紙で紹介したオールドワイルドもそうですが、生き物の名前には名付けた人のセンスが垣間見えて面白いです。(田中)



TOKYO
SEA LIFE
PARK

SEA LIFE NEWS 通巻 127

Vol.24 No.2 2026 APRIL 4月1日発行 (次号は2026年6月発行予定)

編集 葛西臨海水族園
〒134-8587 東京都江戸川区臨海町 6-2-3
TEL.03-3869-5152
www.tokyo-zoo.net/kasai/
発行 公益財団法人東京動物園協会
〒110-0008 東京都台東区池之端 2-9-7
池之端日殖ビル7階
TEL.03-3828-2143

